

神経研究の進歩 総目次

1956年～1964年（1巻1号～8巻4号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年8月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）

- 6巻2号 '62年7月
小児神経病学
- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ¥ 1,400
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ¥ 1,200
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ¥ 1,400
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ¥ 1,200
第5回神経化学懇話会特集号
- 8巻1号 '64年1月 ¥ 1,200
末梢神経（第4回神経病理懇話会）
- 8巻2号 '64年4月 ¥ 1,200
奇形性神経疾患
- 8巻3号 '64年7月 ¥ 1,300
第6回神経化学懇話会特集号
- 8巻4号 '64年11月 ¥ 1,000
視床—構造・機能・臨床
- 9巻1号 '65年3月 ¥ 1,000
蛍光抗体法と Virus 性脳脊髄炎
- 9巻2号 '65年7月 ¥ 1,000
代謝性神経疾患
ミオパチーの疫学と臨床
- 9巻3号 '65年9月 ¥ 1,000
第7回神経化学懇話会特集号
- 9巻4号 '65年12月 ¥ 1,000
神経シンポジウム
- 9巻4号まで売切れになっています。

- 10巻1号 '66年3月 ¥ 1,000
脳のシンポジウム
- 10巻2号 '66年7月 ¥ 1,000
第8回神経化学懇話会特集号
- 10巻3号 '66年10月 ¥ 1,000
脳のシンポジウム
- 10巻4号 '66年10月 号 1,000
第7回神経病理学会特集号
- 11巻1号 '67年3月 ¥ 1,000
いたみ
- 11巻2号 '67年8月 ¥ 1,250
日本脳炎

11巻3号 '67年10月 ¥ 1,250

脳のシンポジウム

'67年12月 第11巻 第4号 1,250円

【第8回神経病理学会】

はじめに……………	川 合 貞 郎
神経病理と全身解剖……………	川 合 貞 郎
Lafora 病の臨床と組織病理学的研究……………	難 波 益 之
Lafora 小体の分離と同定……………	横 井 晋
ミオクロームスてんかんの臨床と病理……………	安 楽 茂 己
ミオパチー罹患筋の微細構造に関する研究……………	三 田 哲 司
人脳におけるAcetyl Cholinesterase と NAD-diaphorase の組織化学的分布の比較……………	石 井 毅
本邦における Progressive multifocal leukoencephalopathy 4 症例の電顕的検討……………	生 田 房 弘・他

典型的多発硬化症の剖検例……………米 沢 猛・他
Leucodystrophy with Deposits

Resembling Rosenthal Fibres

の1例……………安 藤 烝・他
フェニルケトン尿症の1剖検例……………前 田 進・他
慢性二硫化炭素中毒の1剖検例……………立 津 政 順・他
老人斑様変化を示す初老期痴呆

の1剖検例……………林 泰 明・他
老年斑様小体, 原線維変化, 動脈病変, ALS 様変化などを

呈する脳症の1例……………松 岡 竜 典・他
髄液の細胞培養による脳腫瘍の

新しい診断法……………永 井 政 勝・他
一般演題〔1〕～〔79〕抄録・討論

【原 著】

脳卒中の超音波診断に関する実

験的, 臨床的研究……………斉 木 巖
水痘の神経合併症について……………鈴 木 義 之・他
人視床下部の刺激と破壊……………小 柏 元 英